

楠本孝教授 経歴

- 1983 年 3 月 中央大学法学部卒業
1991 年 3 月 中央大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学
2004 年 4 月 三重短期大学助教授
2012 年 4 月 三重短期大学教授（現在に至る）
2014 年 4 月 三重短期大学法経科長（2015 年 3 月まで）
2015 年 4 月 三重短期大学図書館長兼地域連研センター長（2017 年 3 月まで）
2017 年 4 月 三重短期大学地域問題研究所長（2018 年 3 月まで）
2018 年 4 月 三重短期大学法経科長（2019 年 3 月まで）
2019 年 4 月 三重短期大学図書館長兼地域連携センター長（2021 年 3 月まで）
2021 年 10 月 三重短期大学地域問題研究所長（現在に至る）
2023 年 1 月 津市人権施策審議会会長（現在に至る）

楠本孝教授 主要研究業績

[著書]

- 1998 年 8 月 『警察監視国家と市民生活』 共著（白順社）
2003 年 5 月 『刑法解釈の方法と実践』 単著（現代人文社）

[論文]

- 2002 年 2 月 「保安処分論の今日的総括」 法律時報 74 巻 2 号
2002 年 12 月 「「心神喪失者処遇法案」の自民党修正案について」 法と民主主義
374 号
2004 年 12 月 「『再犯予測からリスクマネジメントへ』で問題は解決するの
か？」 三重法経 124 号
2005 年 3 月 「街頭犯罪の現況」 地研年報 10 号
2007 年 3 月 「自治体の外国人統合政策」 三重法経 129 号
2008 年 9 月 「外国籍の子どもの就学義務化をめぐる法的諸問題」 日本の科学
者 488 号
2009 年 8 月 「外国人登録制度の崩壊と新たな在留管理制度への再編」 法と民
主主義 441 号

- 2010 年 3 月 「裁判員制度の下での精神障害者」 三重法経 135 号
- 2010 年 10 月 「裁判員制度のもとでの死刑」 日本の科学者 513 号
- 2011 年 1 月 「「人間回復の刑事法学」とは何か？」 法と民主主義 455 号
- 2011 年 9 月 「新しい在留管理制度と「外国人住民」」 地研年報 16 号
- 2011 年 12 月 「在特会事件判決の意義と限界[2011. 4. 21 京都地裁判決]」 法と民主主義 464 号
- 2012 年 3 月 「外国人登録法史研究序説」 三重法経 140 号
- 2012 年 11 月 「集団侮辱罪と民衆煽動罪」 龍谷大学矯正保護総合センター研究年報 2 号
- 2014 年 1 月 「ドイツにおけるヘイト・スピーチに対する刑事規制」 法と民主主義 485 号
- 2014 年 3 月 「新たな在留管理制度に関する覚書」 石塚伸一，岡本洋一，楠本孝，前田朗，宮本弘典 編著『近代刑法の現代的論点：足立昌勝先生古稀記念論文集』（社会評論社）
- 2016 年 11 月 「ヘイトスピーチ刑事規制法の保護法益」 徳田靖之、石塚伸一、佐々木光明、森尾亮編『刑事法と歴史的価値とその交錯—内田博文先生古稀祝賀論文集』法律文化社
- 2017 年 9 月 「ヘイトスピーチ対策としての公共施設利用制限について」 地研年報 22 号
- 2019 年 10 月 「ヘイトスピーチ被害の認識不足・矮小化が生む諸問題」 別冊法学セミナー13『ヘイトスピーチに立ち向かう』（日本評論社）
- 2022 年 3 月 「ヘイトスピーチを刑事規制する川崎市条例について」 三重法経 154 号
- 2023 年 11 月 「(仮称) 相模原市人権尊重のまちづくり条例答申について」 地研年報 28 号

[その他]

- 2008 年 3 月 『津市における外国人児童・生徒の就学状況調査報告書』（三重短期大学地域問題総合調査研究室）
- 2009 年 5 月 「津市における来日外国人の生活実態調査報告書」 地研年報 14 号
- 2010 年 8 月 「第 2 回 津市における来日外国人の生活実態調査報告書」 地研年報 15 号